



りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第119号

2018年(平成30年)11月発行

住民の会広報委員会 電話:729-0617

発行責任者 佐藤康夫

第22回 ケアセンター成瀬まつり 開催!!

11月11日(日)

「ケアセンター成瀬まつり」は住民の会・NPOアップルサービスクラス・社会福祉法人創和会の三者が共催で行う秋の祭典です。

ケアセンター成瀬の地下ダイサービスフロアと1階が、一部を除いて解放されます。

この日は天気に恵まれ、気持ちのいい一日でした。

外には、開始を待つお客様が2か所に分かれ、約100人の長い行列。玄関前ではもう子どもたちがヨーヨー・パターゴルフ等のコーナーで歓声を上げています。

10時に扉が開き、さあ「第22回ケアセンター成瀬まつり」の始まりです。



たくさんの買い物に、売り子のスタッフは間違わぬよう真剣です!

一斉に入ってこられるお客様。お目当てのものを見つけようと、まず地下のバザー売り場に直行。年末のデパート並みの賑わいです。様々な品物の中からあれやこれや探す様子はとても楽しそう。隣の部屋はフリーマーケット、カラオケコーナー。



緑に囲まれた中庭では、ビールそして、焼き鳥を焼きたい匂いが。買い物で少々くたびれた身体には刺激的です。幾組かのご家族や友人が憩っておられました。

1階。NPOアップルサービス「暖」による焼きそば・豚汁・赤飯など等、好評で、売り切れ御免の品々。買った

品物を抱え、隣の食事・喫茶ブースまで移動。昼食・歓談、しばしひと休み。

ご利用者の方々の趣味活動の展示コーナーには、習字・寄木細工・陶芸・刺繍等、見事な作品が並べられて、そのでき栄えに脱帽。

玄関すぐのスペースでは栄養相談・骨密度検査・安心キーホルダー登録・無料マツサージ等、ケアセンターならではの催しです。

さて、子どもたちの集まる玄関のアプローチ。もう声も聞きたれぬほどの賑わいです。着ぐるみの犬アクテブル君とジャンケンをする子、抱きつく子。創和会のスタッフもエネルギー爆発!
玄関横には地場野菜・果物。新鮮さと味が売りです。



バーベキュー・くじ引き・焼き団子・おでん・輪投げ・お汁粉etc.

今回のバザーへの提供者数は137名でした。心より御礼申し上げます。

96歳のSさんはおまつりの数か月前からバザーに出す刺し子の布巾をご自宅で作りはじめられます。Iさんは、バザーが済むと翌年のためのダンボールをすぐ用意されるそうです。「私に必要でなくなつたものが、どなたかに使ってもらえるかも」と。たくさんの方々の善意が、この「まつり」を支えているに違いありません。

バザー収益金
548,283円

グランドピアノのメンテナンス、イベント用テーブルの購入等に使用させていただきます。

品物を提供下さった皆様、当日、参加下さった大勢の皆様ありがとうございます。機会を何度も重ね、このまつりを担ってきたスタッフにも感謝、お疲れさまでした。

(広報委員長 大島恭子)

天候が定まらない今年でしたが、3回目の「花みずきのおしゃべり会」を晴れた日に迎えることができて本当に良かったと思います。スタッフを入れて32名の参加があり、会議室は満杯。

この日は、デイサービスの主任、星野和宏さんがスライドで、ご利用者の方々の一日を分かり易く説明して下さいました。

デイサービスは、朝10時に体温・脈拍などご利用者の体調を診ることから始まります。その後体操をしたり、ぬり絵をしたりして過ごします。お昼になるとNPOアップルサービス

「暖」が作る心のこもった美味しい昼食をいただき、13時30分からは趣味活動の時間。書道・絵手紙・刺繍・俳句・寄木細工・陶芸・麻雀・囲碁・カラオケ等々、曜日で分けて実施されています。他にトランプをされたりテレビをご覧になったり、お

花みずきのおしゃべり会 9月12日

塚本 誠子



しゃべりをしてもらえる方、午睡をとる方もあって、それぞれの方に合った時間を楽しんで過ごされているそうです。今回の「おしゃべり会」には遠方から越してこられた星野さんのお母さんが参加され、息子さんの話を熱心に聞いておられる姿がとても微笑ましく、私も嬉しくなりました。

スタッフが用意した可愛いお菓子、お茶をいただきながら、また、いつものようにグループに分かれおしゃべり。とても賑やかです。さてさて次回(12月12日)はどんなおしゃべりを楽しみましょうか。どうぞお楽しみに…。



防災講演会

研修委員長 遠藤 仙子

真夏のような暑さになった10月7日に、ケアセンター成瀬で「災害時の自助・互助・高齢化した住宅地が必要なのは？」というテーマで講演会を開催しました。講師は東京有明医療大学講師の乙黒千鶴氏です。



四つの助として「共助・公助」も一緒に語られることが多いのですが、今回はまず自分のことは自分でということから右記の点を中心にしたお話をいただきました。最近の大災害、避難所の様子、海外の避難所との比較などは、映像や先生ご自身が被災地に派遣された際の体験談などで具体的に語られ大変貴重なお話となりました。

町田の防災対策の理解のひとつとして高齢者の状況、地域危険度、防災無線等についても再確認できました。

防災対策として日頃大切なことは、地域の防災訓練に参加し、防災の意識を高めること。そして消火器、家具転倒防止対策、非常用品の備えが重要だとのことでした。

非常用品は自宅にあるもので代用できるものもあり、例えばビニール袋と新聞紙で作る非常時のトイレはとても参考になったと参加者からの感想がありました。

発災時は自分自身のことですが、手がいっぱいになりがちですが、自助、互助がしっかりしていると災害に強い街作りになり、助かる人が多くなるということでした。

結局のところ、地域作りは知り合うこと、助け合うことで、この地域で街作りをどうしていくかが課題であると考えさせられました。



ダンケムジーク

第4回コンサート

穏やかな秋の陽射しの10月14日(日)午後、「ロシアより成瀬台へ愛をこめて」の題名に誘われ、多くの方々がお出掛け下さいました。

副題は「バラライカ・アンサンブル&男声カルテット」です。

恒例の開幕ベルは住民の会会員の永尾陽子さんが笑顔で演奏。

前半は過去2度出演の笹本洋子さんが、所属する北オケアンサンブル内の「メロディア」というグループでギターを担当。ドムラマラーヤ堀内ちか子さん、プリマバラライカ立本朋子さん&アルトドムラとグースリ東直美さんの4名で「ともしび」から「カリンカ」までロシア風景解説などを交え民謡を中心に演奏。観客一同、珍しい楽器に耳を傾けました。

来場のご夫妻がロシア駐在時に入手された素朴なお人形を持参くださり聴衆の目も楽しませて下さいました。



第二部はお馴染みの男声カルテット「ベリーズ・フォー」が登場。

昔は若かった男性陣、テノール山本洋氏・川島通明氏、バリトン但野勇士氏、バス佐川雅夫氏は町田の男声合唱団マルベリーのメンバーで20世紀末から続く美声のグループ。ロシア民謡と対比してアメリカ・ドイツ・アイルランドなどの民謡を披露。お客様も大いに楽しまれた次第でした。(実行委員長 川口彩子)

※次回第65回コンサートは来年3月31日。タタル・ヘンリさん・木下順子さんご夫妻のヴァイオリンとピアノのデュオをお届けします。どうぞお楽しみに♪

「みなさん、写真をとります。こちらへ」との案内の声で集合しました。有隣クラブの昼食後のことです。皆とてもにこやかでした。

10月17日(水)、住民の会設立25年目のバス旅行が行われました。

朝8時にケアセンター前を出発。スケジュール通りに進んでいるようです。天気予報では雨でしたが良く晴れています。皆さんの思いが通じました。

まず宝登山ロープウェイで山頂へ。桜の木に花がチラホラと咲いて皆を迎えてくれました。この時期の花は台風の置き土産のようでした。四方の景色は薄く煙っていました。山頂では四つ葉や五つ葉のクローバー探しに皆で夢中になりました。私も2〜3本見つけて大満足。しおりにしようとして大切に持ち帰りました。



その後ロープウェイで下山。3分程度の空中散歩を友人達と満喫しました。続いて食事処に入り精進揚げを熱々で頂けたのはすごいご馳走でも嬉しかったです。他の料理も竹の器に盛りつけられ美味しくいただくことができました。

バス旅行に行ってきました

♪ 圓子

午後には長瀬の岩畳を久しぶりに眺めました。小学校の遠足や友人との遊びで数回訪れた場所です。ゆつたりと舟遊びしている他のグループも見受けられました。



お土産店では夕食のおかず豚肉を購入。翌朝のためにウインナーもカゴに入れ、お菓子も数点買いました。次の道の駅では売り場のコーナーのほとんどが売り切れでしたが、私は好物の柿を買うことができました。

帰りのバスの車中、小竹事務局長提案のペロ体操を皆で楽しみました。高齢者には今後の参考になることでしょう。バス旅行実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

住民の会は今後もスケジュールがギッシリです。楽しみが続きます。





そのハガキ、ぜったい無視!

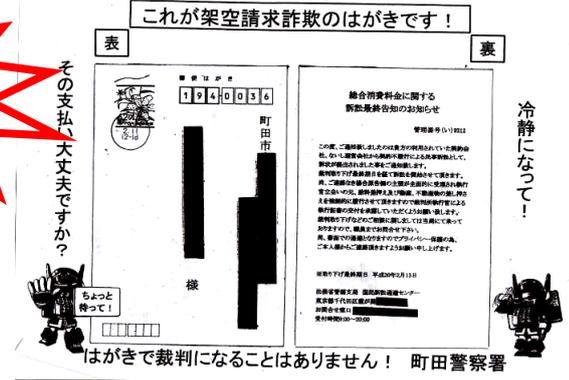
そのもうけ話、信じちゃダメ!

「私は騙されない」
「ダメされたふりして悪者を撃退しよう」

そんなあなたが一番危ない。



こんな葉書
我家にもきた



冷静になって!

はがきで裁判になることはありません! 町田警察署

サギを防ごう「防サギ」



防サギ1 留守電にしましょう!! コールは3~5回の短めに設定!

防サギ2 電話に録音機をつけましょう!!

※詐欺師は自分の声が残るのを嫌うので録音や留守電が効果的です。

防サギ3 相談用電話番号「188」「#9110」を
メモして貼っておきましょう!

※一人で悩まず何かあればどんなことでも相談電話に電話してください。

千代田区霞が関の住所??
信じちゃダメ!!



これからの催し物(予定)

・ボランティア親睦会

日時 12/9(日)12:00~14:30

場所 ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア

・新春交流会

日時 2019年1/20(日)13:00~15:00

場所 ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア

・資源回収(毎月第4月曜日)

11/26、12/24、1/28

・地域交流会「花みずきのおしゃべり会」

日時 12/12(水)13:00~

場所 シニアカフェ花みずき

・きらく会

日時 11/22日(木)・12/14日(金)・12/21(金)

1/11(金)・1/25(金) 11時~15時

12/7日(金)のみ 12時~16時

場所 ゆりのき会館



会費納入のお願い

平成30年度の会費が未納の方は ☎042-729-0617
ケアセンター成瀬事務局までご連絡ください。

編集後記

今回「ケアセンター成瀬45号」を手にする機会を得、故岩崎寿美男氏の文章が目に入りました。成瀬台小の小5の児童がケアセンター成瀬に実習に来た時の感想が書かれていました。

「年を取るといふことは、一年一年に別れを告げることだと思えます。年を取るにつれ体力がなくなるけど代わりに思い出が次々と増えていきます。(中略)年を取るといふことは、つまり思い出が増えることだと思えます。」と読み上げると「身体の衰えばかり考えていて心のことは考えていなかったたので、お年寄りにもっと声をかけていきたい」子どもたちの感想でした。

「老いる」をテーマに考える、生き生きとした授業が行われ、何より子どもたちの未来を見つめる心に感動しました。」

たくさん思い出を作りたいですね。
(山垣淑子)

